

3く3く

第5号

里山建築研究所筑波山麓録
Research Institute for Mountain Architecture
 MOUNTAIN ARCHITECTURE

特集

- 「仙里草」板倉の家上棟 01
- 北条竜巻被災 02
- 板倉の応急仮設住宅 03

information

- 里山建築研究所引越しのお知らせ／
 竜の子ゴブリン団地／ 04

report

- 里山プロジェクト／北条街かど新聞／
 日本茅葺き文化協会 第3回茅葺きフォーラム天栄村大会／ 04



「仙里草」板倉の家上棟

京都の南、木津川流域に六〇坪の堂々たる板倉の家が上棟いたしました。中央に大きな広間を設け、東に台所、西に接客の座敷を配置。間仕切りの少ない開放的で風通しのよい間取りです。広間は一部吹き抜けで、2階の寝室とつながります。この大きな空間の架構は、6mの大黒柱と小黒柱、7.2mの梁からなり、豪快な梁組みが見どころです。



1尺角の大黒柱と小黒柱は共に6mの通し柱

仙里草（せんりそう）は建て主、設計事務所、工務店の頭文字をとった愛称です。建て主による家づくりブログ発信中。
<http://blog.livedoor.jp/senriso/>

「仙里草」DATA

敷地面積	約三〇〇坪
延床面積	約六〇坪
構法	板倉構法
外部仕上げ	日本瓦葺き（いぶし瓦）
屋根	ガルバリウム鋼板横葺
庇	大和張り、大壁焼スギ板張り
外壁	木製建具、海鰻カラス
外部建具	
内部仕上げ	スギ本実板（厚1寸）
床	
壁	スギ本実板あらわし、漆喰塗り壁仕上げ

北条竜巻被災

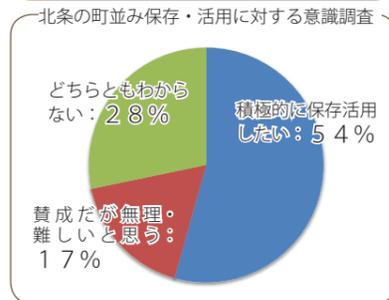
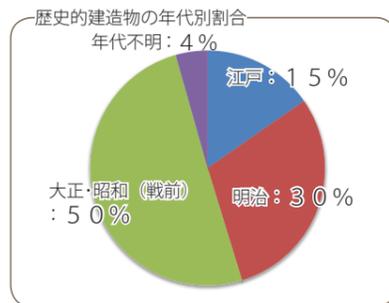
茨城県つくば市北部に位置する北条地区は、徳川家三代将軍・家光によってつくられた参道「つくば道」の起点。筑波山麓の商業の中心地区であり、江戸から明治大正時代につくられた土蔵づくりの店蔵等の歴史的町並みが今なお残っています。昨年の大震災に続いて5月6日の竜巻によって、大きな被害を受けたのが、その店蔵が立ち並ぶ北条商店街でした。

商店街には旧北条ふれあい館「岩崎屋」、国登録有形文化財「宮本家」の店蔵や大蔵など江戸期の町家、昭和初期の近代和風住宅といえる国登録有形文化財「旧矢中邸」が一般に公開されており、市民に親しまれています。

それらが建ち並ぶ商店街の町、内町を中心に、筑波大学安藤研究室・藤川研究室らが調査したところ、約400棟のうち3割以上の歴史的建造物が残っていることが確認されました。この歴史的建造物の被害状況に焦点をあててみると、全壊は門2棟のみで、他の住宅や土蔵、門、納屋は一部損壊、半壊でした。



竜巻被害翌日の北条地区



竜巻の強さはF3とされ国内観測史上最大クラスの暴風によって、屋根の他に、雨戸やガラス戸、障子など建物の開口部に大きな被害をもたらしましたが、柱や梁など構造材に被害は少なく、屋根や建具は十分修復ができることがわかりました。

アンケート調査によると被災家屋所有者の3分の2が修理予定であるものの、残り3分の1は修理のめどがたっていない状況が判明。これは居住している家の他にも、土蔵や納屋といった今では利用頻度の少ない建築物への経済的負担が大きいことが表れています。課題となっている修理費を個人では負担が難しい状況のため、地域で町並みを守ろうと6月15日に北条復興まちづくり協議会を結成。短期的な目標では街の復旧、街の将来像をさぐり、中長期的な目標では、重要伝統的建造物群保存地区などの指定をうけた街づくりも視野にいれていきます。今後は、同協議会を中心に地域の復興と街づくりに取り組む予定です。



趣のある店構の田村呉服店。構造部に大きな損傷がないことから、損傷箇所を確認し、修理が必要であった建具を修理した。夏ごろより田村呉服店が北条ふれあい館となる予定。



岩崎屋。「北条ふれあい館」情報発信と交流の場として、多くの人が訪れて親しまれてきた。開口部に被害が集中し、建具に被害が集中した。



宝暦より商いがつづき、現在でも商店を営んでいる井上善兵衛。北条地区で最も古く、そして大きい土蔵。店蔵と店舗土蔵が漆喰壁と瓦が損傷した。

板倉の応急仮設住宅



写真/齋藤さだむ



深い軒と縁側

昨年の7月に福島県南西部で甚大な被害をもたらした新潟・福島豪雨災害。河川の氾濫によって山間部では鉄道や道路が分断され、さらには多くの家屋が流失しました。その被災者むけて仮設住宅を3棟8戸設計しました。うち1棟は仮設ではなくコンクリート基礎をうち、今後、町営住宅となる予定です。

奥会津といわれるこの地域は、豪雪地帯で、年間の積雪は4mを超すこともあります。仮設住宅の基本的な構造は、これまでの仮設住宅と同様ですが、積雪から人と建物を守るために基礎を高く、軒を深く延ばして、雪囲いを設置した多雪地仕様となりました。板倉の仮設住宅の汎用性の高さを確認することができました。

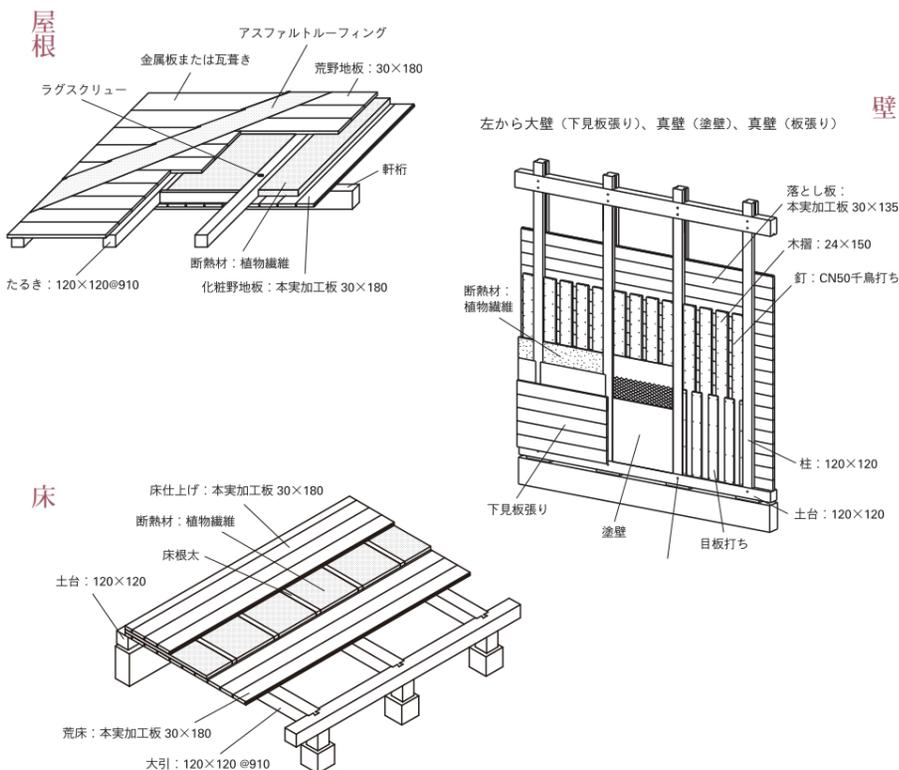


雪囲いを設置



家づくりの裏側⑤ 「板倉構法の断熱」

家屋の主要な断熱の部位は、屋根、壁、床です。板倉構法では垂木(たるき)、柱、根太といった構造材にスギの厚板を二重張り断熱性能を確保しています。構造材と厚板の間に植物繊維の断熱材を設置して断熱性能をより高めることも可能です。



竜の子ゴ布林団地 2012.7.7

北条街かど新聞

つくば市に潜むゴ布林博士をご存知でしょうか。博士はあらゆるところに「ゴ布林=妖精」が宿ると考え日々その姿を追い求めています。博士によると北条の街を襲った竜巻によってまれた大量の瓦礫にもゴ布林が。復興の願いを込めて北条小学校の児童と瓦礫からゴ布林を作成するワークショップを開催しました。児童らが制作したものを1つの作品とした「竜の子ゴ布林団地」が7月7日の七夕祭りより旧矢中邸で公開されました。



report

北条街かど新聞 2012.5.10

つくば市北条竜巻被災

竜巻の被害は大きく、これまで北条の街の情報発信の場であった「岩崎屋」など北条商店街の顔となっていた歴史的な価値のある町並みが損なわれてしまいました。その後、ボランティアなども加わり瓦礫処理などが進み、復興に向けた第一歩を踏み出したところではあります。

復興活動の1つで、被災者のコミュニティ支援をする壁新聞「北条街かど新聞」を里山建築は応援しています！街かど新聞は5月から7月までの2ヶ月間半壁新聞として発信。その後、アナログ壁新聞は閉刊し、今後はfacebookにて随時情報を発信していく予定です。これまでの活動の記録がまとまっているので、ぜひご覧ください。



里山建築研究所 引越しのお知らせ

竜巻の被害にあわれました皆様へ
5月6日に発生した竜巻におきまして、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

この度下記住所へ移転いたしましたのでお知らせいたします。お近くにお出向きの節には是非お立ち寄り下さい。なお移転に伴いファクス番号が変わりましたのでお知らせいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

〒300-4231
茨城県つくば市北条184
TEL: 029-867-1086
FAX: 029-867-1083
URL: <http://satoyama-archi.co.jp/>
E-mail: satoyama-archi@air.ocn.ne.jp

里山プロジェクト 2012.4.21

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会の活動で「里山プロジェクト」が始まりました。首都圏の都市住人向けに農村生活体験を楽しむプランを提供します。4月の「田井の里をめぐるツアー」で田井地区をぐるりと取り囲む山麓を彩る山桜を楽しみました。5月は「田植え体験と生きもの観察会」を開催。今後も筑波山麓の魅力体験できる場づくりをしていきます。今後専用ウェブサイトを展開予定です。

「里山プロジェクト」は野村不動産株式会社の協賛を得て活動しています。



第3回茅葺きフォーラム福島県天栄村大 2012.6.9~10

日本茅葺き文化協会

第3回茅葺きフォーラムが福島県天栄村にて開催され、会員である里山建築スタッフも参加してきました。福島県のほぼ中央の猪苗代湖より20kmほど南下したところに天栄村は位置します。このあたりは下郷町の内宿をはじめ茅葺き民家が多数あり豊かな農村景観を保持していることから、フォーラムでは森の資源の循環について活発な意見交換がされました。茅葺き職人、茅葺き屋根愛好家から研究者、学生と幅広く150名以上が参加。

翌日開催された見学会では、東北地方の茅葺き民家の特徴といえる「曲がり家」を水引集落で見学。東北地方は馬産地として有名で農家の形状も畜産業に合わせた独自のL型になったと言われています。天栄村には茅葺き屋根の温泉宿が複数あり、かつては馬の仲介業者であった馬喰(ばくろう)が、馬を買い付けにくるために、宿を利用していました。茅葺き屋根の材料として、そして馬の飼料として茅が農家の共有財産だったそうです。茅葺き民家を通じてその地域の生業を学ぶことができました。



株式会社里山建築研究所

〒300-0431
茨城県つくば市北条184

TEL: 029-867-1086

FAX: 029-867-1083

URL: <http://satoyama-archi.co.jp/>

E-mail: satoyama-archi@air.ocn.ne.jp

会社概要

里山資源を生かした居住スタイルを追求する実践的な試みの場として、筑波山の山裾に開設したのが、里山建築研究所です。現代の里山に循環を取り戻すべく考案された板倉の家を提案し、時代の趨勢によって変わり続ける民家の現代のかたちを探ることが、私達の試みです。

しごと

設計・設計監理

「板倉の家」：新築、改築

「民家再生」：改築、移築

「茅葺き」：葺き替え修繕、新築

他 「企画制作、調査研究」

「地域づくり支援活動」

編集後記

設計事務所には、法律・事典・カタログ、地図・写真集・雑誌と設計に関わる書籍がたくさんありますのでついつい読んでしまします。

